

平成21年度「みどりの日」自然環境功労者表彰
環境大臣表彰受賞者一覧

保全活動部門(18件)

	受賞者	功績概要
1	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会 (岩手県)	世界遺産地域である白神山地において、ボランティアを中心として、ブナ林の樹種毎の樹高、胸高直径、林床の実生の種類などの詳細な調査・研究を行うなどその保全に尽力。
2	シンジョウ ホクシン 新庄市立北辰小学校 (山形県)	イバラトミヨを保護するために、県や市、地域と連携をとりながら、生態観察、指首野川の水質調査及び環境浄化など、保全・保護活動及び普及啓発活動に尽力。
3	川尻漁業協同組合 女性部 (茨城県)	永年、「磯そうじ」と称した磯の手入れを行い、住民に対して、地元の良い水産物の存在とその恵みである安全・安心な水産物への理解を向上させるなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
4	社団法人 東京都獣医師会 (東京都)	小笠原における希少野生生物保護のため実施されているノラネコの捕獲事業に協力し、捕獲ネコの受け入れ、馴化、飼育主探しを実施し、同事業の実効性を飛躍的に高めるなど、小笠原の希少種保護対策に貢献。
5	オオレンゲサンホシウカイ 大蓮華山保勝会 (富山県)	中部山岳国立公園が指定される以前から高山植物やライチョウ、高山蝶等の希少な動植物を保護するなど、高山帯における自然環境の保全に永年尽力。
6	タナカ トシユキ 田中 敏之 (石川県)	全国に先駆けて、県内の巨樹の実態調査を実施するなど、国内の巨樹に関する調査・保全及び普及活動に尽力。
7	金沢ホタルの会 (石川県)	県内におけるホタル保護活動の先駆者であり、生息調査や保護活動、観察会等の企画・運営を通じ地域の自然環境保全に貢献をするなど、保全及び啓発活動に尽力。
8	スギハラ ヒロシ 杉原 廣 (山梨県)	県内の鳥類全種調査等、永年にわたる多くの調査活動により、県内鳥類の生息状況が明らかになってきているほか、数多くの観察会、講演会を実施するなど、自然環境保全と、普及啓発に尽力。
9	ノムラ カツシゲ 野村 勝重 (岐阜県)	永年の活動により、周伊勢湾要素植物群の生態・分布調査を行うとともに、基礎資料を作成し、今日の希少種保全の礎となっているなど、自然環境の保全に尽力。
10	ミヤジマ ヒロタカ 宮島 弘孝 (岐阜県)	多治見市全ての河川・池の水棲生物調査、河川工事の助言等を行うとともに、ビオトープ設置、川の観察会などを通じて、子ども達や人々の関心を深めるなど、自然環境保全及び普及啓発に尽力。
11	南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク (静岡県)	南アルプスにおけるニホンジカ被害による、高山植物保護対策や、利用者の指導及び高山植物保護思想の普及啓発、美化清掃活動など、自然環境の保全に尽力。

保全活動部門

12	特定非営利活動法人 亀岡 人と自然のネットワーク (京都府)	絶滅危惧種であるアユモドキ保全のため、渇水期での救助、密猟の防止パトロールの他、産卵場所の特定、生息環境・生態的特性の把握調査、外来種防除、観察会を行うなど、希少種の保全と、普及啓発に尽力。
13	ウツミ コウイチ 内海 功一 (兵庫県)	永年にわたり、千種川流域の環境学習や親水活動に携わり、地道な研究成果による知識経験を広く提供し、多くの人々により保全活動が継続され拡大するなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
14	洲本市立由良中学校 (兵庫県)	生徒会役員が企画立案する「成ヶ島クリーン作戦」の取組により、生徒会が中心となり、教職員・地域住民と協働での清掃活動、外来種の駆除、抵抗性松の植樹など、自然環境保全に尽力。
15	ヤマモト エイジ 山本 栄治 (愛媛県)	動植物調査活動により昆虫等の新種を発見するとともに、自然観察会の講師を務め、自然保護の講演、行政への提言を行うなど、永年に亘る幅広い環境保全及び普及啓発に尽力。
16	特定非営利活動法人 帆柱自然 公園愛護会 (福岡県)	永年にわたり、四季を通じた植物・野鳥の観察会の実施、登山ガイド、子ども達を対象にした自然体験学習プログラムを実施するほか、毎月の清掃登山を行うなど、帆柱自然公園地域の自然環境保全及び普及啓発に尽力。
17	ハマサキ ヒヨシ 濱崎 日吉 (長崎県)	永年にわたるキュシュウジカの生息調査を行い、野生ジカによる農林被害の深刻化に対し、公的機関へ調査データを無償で提供するとともに、シカ被害に悩む地域住民の相談を受け支えになるなど、自然環境の保全に尽力。
18	久米島ホテルの会 (沖縄県)	久米島特有の希少種の保全のため、モニタリング調査を行うとともに、自然観察会や清掃活動などで、河川環境の重要性を広く普及するなど、自然環境保全及び普及啓発に尽力。

いきもの環境づくり・みどり部門(10件)

	受賞者	功績概要
19	^{オガタ} 尾形 ^{ヨウイチ} 洋一 (岩手県)	永年、チョウセンアカシジミの生態、生息状況、環境等の調査を実施するとともに、絶滅防止のための生息環境作りを推進するなど、環境保全に尽力。
20	日本野鳥の会群馬県支部 (群馬県)	永年にわたる、野鳥の生息調査や探鳥会の開催、野鳥保護活動等を通じて、自然保護運動の先駆的な役割を果たすなど、野鳥保護思想の普及啓発、自然環境保全に貢献。
21	新座市グリーンサポーター (埼玉県)	市内の雑木林で草刈りや清掃、実生植栽、萌芽更新などの維持管理活動を行い、荒れ果てた雑木林を適正に管理するなど、自然環境保全に尽力。
22	特定非営利活動法人 環境学習研究会 (東京都)	行政や学校と企業等が協働した環境活動や環境学習の支援を行い、都と企業の橋渡し役として、中立的な立場からの提案を行い、社員、地域住民、団体等の幅広い連携が生まれるなど先駆的な活動を行い、自然環境保全活動に貢献。
23	新潟県ホタルの会 (新潟県)	ホタルの生息環境の保全、分布マップや発光間隔の調査研究等を行うとともに、研修会やホタル指導員の養成と認定を実施するなど、保全及び普及啓発に尽力。
24	太平洋クラブ 御殿場コース (静岡県)	永年にわたり、全国の公共施設の緑化植樹及び環境保全・普及啓発等の環境事業に協力し、みどり豊かな環境の国土作りを目指した、環境保全活動等へ貢献。
25	^{タワラ} ビオトープ田原 里山の会 (大阪府)	小学生を対象に水辺の生き物調査や遊休農地による農業体験など環境学習を行うとともに、中学生等と連携した森林保全活動を実施するなど、子どもや地域住民の環境意識の向上に尽力。
26	ゲンジの森実行委員会 (和歌山県)	減少した在来広葉樹の保護育成活動、森林文化の伝承、環境教育活動の実践等、地道な活動を続け、和歌山県において森林ボランティア活動の先導的立場を担い、自然保護、普及啓発に貢献。
27	^{イワミ} 岩美町立 ^{イワミ、ミナミ} 岩美南小学校 (鳥取県)	保護者・児童・教職員一丸となり、校内の緑化活動を行い、環境教育を率先して取り入れるとともに、地域住民の協力も得て活動を広げるなど、緑化と環境保全の普及啓発に貢献。
28	川跡ビオトープ友の会 (島根県)	様々な生きものが生息する水辺のビオトープを整備し、環境学習・環境教育の推進に積極的に協力するなど、生きものの生息環境づくりを通して自然環境保全の普及啓発に尽力。

自然ふれあい部門(9件)

	受賞者	功績概要
29	きたうら広域漁業協同組合 (茨城県)	漁協独自の取組として、地元小学校を漁港に招きワカサギの孵化事業の体験、漁業体験、環境についての講義を行うなど、水産教室の開催を通し自然保護思想の普及に尽力。
30	港区立港陽 ^{コウヨウ} 小学校 (東京都)	立地環境を生かした海とのふれあいを重視した学習を展開し、アマモの育成や海苔づくりなどの自然再生実践活動を行うなど、環境保全とその意識向上に尽力。
31	横浜市立瀬ヶ崎 ^{セガサキ} 小学校 (神奈川県)	磯の生き物に触れる機会の少ない子ども達に対し、各種調査活動など体験型の自然環境教育や、地域と連携したアマモ場再生活動などを通じて自然環境の保全・再生の必要性を啓発し環境保全に尽力。
32	身延町 ^{ミノブチョウ} 文化協会下部支部自然愛好部 ^{シモベ シブ} (山梨県)	自然保護関係事業への積極的参加や自然観察会、学習会を実施し、環境アドバイザーの派遣により、環境保全活動の意識向上に貢献。
33	どんぐり運動の会 (長野県)	永年にわたり、ミズナラ・コナラ等広葉樹の苗木を子ども達と共に植樹することで、風水害に強く、良質な水の源となる森づくりをすすめ、自然への関心を高めるなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
34	ボランティア 風と土の会 (岐阜県)	地道な活動により、荒廃した竹藪を竹林公園として整備・維持管理し小中学生の環境学習や市民への啓発、地域のコミュニケーションの場として有効に活用するなど、環境保全・学習の推進に貢献。
35	社団法人 京都モデルフォレスト協会 (京都府)	企業等と自治体・森林所有者等との調整を図り、企業や団体による里山の手入れや間伐などの森林づくり活動を推進するとともに、ボランティアのリーダー養成を行うなど、幅広い主体による先駆的な環境保全の取組に尽力。
36	佐野 修治 ^{サノ シュウジ} (京都府)	永年にわたり、京都御苑で実施している自然観察学習会の講師として、御苑来訪者の自然への理解を深めるとともに、京都御苑のキノコ類の調査に協力をするなど、環境保全及び普及啓発に尽力。
37	洲本市立由良 ^{ユラ} 小学校 (兵庫県)	瀬戸内海国立公園淡路地域に位置する成ヶ島において、自然体験や、動植物の観察、校外学習としての成ヶ島の清掃を行うなど、自然環境の理解を深め、環境保全に尽力。

調査・学術研究部門(4件)

38	新庄 久志 (北海道)	永年にわたり、釧路湿原の植生植物を中心とした調査・研究を重ねるとともに、地域住民をはじめ国内外へ湿原の大切さや賢明な利用に係る普及啓発活動が続けるなど、釧路湿原に係る調査・研究及びその保全に貢献。
39	米山 競一 (石川県)	白山をはじめ、県内全域において、各種の植生やキノコの調査、後進の指導を行うなど、県内の植生に関する知見の集積に貢献。
40	向井 宏 (京都府)	主に北海道、沖縄沿岸域で海草藻場やベントスの調査研究を行うとともに、長年、国の調査委員会の委員や座長等を勤めるなど我が国の浅海域の調査・研究及びその保全に貢献。
41	特定非営利活動法人 四国自然 史科学研究センター (高知県)	ツキノワグマをはじめ様々な生物種の地道な調査研究活動を行うとともに、行政への提言や環境学習活動を行うなど四国の自然環境に関する調査・研究等に尽力。

国際貢献部門(1件)

42	財団法人 長尾自然環境財団 (東京都)	永年にわたり、アジア・太平洋地域の開発途上国における次世代の自然環境保全の担い手を養成するとともに、研究助成を行うなど途上国の自然環境保全に貢献。
----	------------------------	---